

北海道 酪農 I社

【受入れ経営体概要】

所在地：北海道阿寒郡鶴居村

従業員：正社員8名、技能実習生4名、パート等4名

経営規模：乳牛980頭（年間生産生乳量は1ℓパック500万本分）

ポイント

- ☆個室完備など快適な生活環境の提供
- ☆家族同様に接するなど、実習生の気持ちに寄り添って働きやすい環境の整備

【実習生の状況】

受入れ開始：平成27年6月（フィリピンより）

現在は全員女性、20歳代、手取り給与額13万円程度

【受入れ経営体の取組】

- ・実習生用の社宅（2棟6名分）を整備（整備費は約5,000万円）
- ・「家族と同様に接する」をモットーに、休日は近隣の観光、宴会などに一緒に出掛けている。



「給料はよく部屋も快適で、仕送りにより家族がトラクタやバイクを購入した」と語るパメラさん(右)



実習生が住む社宅。個室でキッチン・居間8畳、寝室、風呂・トイレを完備



日本国旗と実習生のフィリピン国旗を牧場事務所前に掲揚

香川県 畑作・野菜 N社

【受入れ経営体概要】

所在地：香川県観音寺市

従業員：正社員4名、技能実習生10名、パート等2名

経営規模：55畝（レタス、ネギなど）

社長(中央)の指導の下、レタス畑で活躍しているインドネシア人の実習生ら



ポイント

- ☆人事・昇給制度等も日本人正社員と同等
- ☆現場責任者へ登用

【実習生の状況と受入経営体の取組等】

- ・平成16年から受入れ（インドネシアより）
- ・人事・昇給制度等の処遇も日本人正社員と同等
- ・女性実習生（実習3年目）を作業部門の責任者に登用
- ・受入れにより経営規模の拡大、労務管理の改善を実現
- ・販売高は受入れ前の10倍に

【その他の取組】

- ・元技能実習生がインドネシアに戻って送出し機関を作り、連携
- ・地域農家20戸が平成23年に自らで監理団体を組織。
- ・地域の行事等への参加を促す、祭りでインドネシアの歌を合唱する、など意識的に接点づくりに取り組む。

茨城県 畑作・野菜 I氏

【受入れ経営体概要】

所在地：茨城県結城市

従業員：家族従業員2名、技能実習生2名

経営規模：4畝（白菜、レタス、トウモロコシ 等）

ポイント

- ☆実習生が母国で農業指導者になることができるよう指導
- ☆実習生と地域住民との交流を促進

【受入れ経営体の取組等】

- ・平成15年から受入れ（タイより）
- ・タイは地域により乾燥地帯があったり湿地帯があったりと栽培環境が違うため、マルチ栽培を活用し、タイのそれぞれの風土に合わせて水分管理等を工夫できるようにするよう指導。
- ・2号実習生が1号実習生を指導する体制を取ったことで、実習生同士の結束が深まり、全員の農業技術の理解促進につながっている
- ・地域でのお祭りやごみ拾いにも参加してもらい、日本文化の理解や地域住民との交流を深めている。



笑顔で農作業に取り組むタイ人の実習生



トラクターを安全に使えるよう丁寧に説明

熊本県 施設園芸 H氏

【受入れ経営体概要】

所在地：熊本県宇城市

従業員：家族従業員3名、技能実習生4名

経営規模：トマト120畝、メロン68畝、水稻270畝 等

ポイント

- ☆実習生の日本語能力を高めるためのアドバイスや地域行事への参加を促進

【受入経営体の取組等】

- ・平成16年から受入れ（当時は中国、現在はベトナム）
- ・的確に指示が伝わるよう標準語を使うように心がけ。実習生に日本語を上達してもらおうと日本のドラマやカラオケを紹介し、ヒアリングを勧めたところ、短期間で日常会話程度まで話せるようになる実習生も。
- ・受入れにより作業効率が向上、経営規模も拡大。販売高は受入れ前の2倍に（約2千5百万円→約5千2百万円）
- ・実習生に積極的に地域の運動会やスポーツ大会に参加するよう促しており、実習生も地域に溶け込もうと努力している。



地域の運動会に出場する実習生

群馬県 畑作・野菜 A氏

【受入れ経営体概要】

所在地：群馬県昭和村

従業員：正社員4名、技能実習生4名、パート数名

経営規模：17畝（キャベツ、レタス、山ウド 等）

ポイント

- ☆自動車運転免許の取得費用などを助成
- ☆季節による繁忙に対応すべく変形労働時間制等を採用

【受入れ経営体の取組等】

- ・十数年前から受入れ（タイより）
- ・効率的に圃場を移動するため、自動車運転免許の取得を促しており、教習所までの送迎や、免許の取得に掛かる費用全額を支援
- ・冬場は業務量が減るため、変形労働時間制・固定月給制を採用。冬場は特に有給休暇取得を促進
- ・年末に月給とほぼ同額のボーナスを支給
- ・温泉旅行やテーマパークに従業員とともに出掛け、親睦を深めている。
- ・買い物等の際には、送迎を実施



育苗作業をする実習生



ガラス細工等を体験を満喫



実習生同士の食事会

栃木県 酪農 J社

【受入れ経営体概要】

所在地：栃木県市貝町

従業員：正社員31名、契約社員（常勤）22名、技能実習生18名、パート15名

経営規模：乳牛2,600頭、肉用牛5,500頭

ポイント

- ☆技能や日本語の習得状況を評価し基本給に上乗せ

【受入経営体の取組等】

- ・平成19年から受入れ（中国、インドネシア）
- ・実習生の基本給は14万円程度
- ・年に2回、技能や日本語の習得状況等を面談により評価し、基本給に上乗せ
- ・近隣の農地を実習生に貸与し、実習生は自分たちで食べる野菜を栽培することが可能
- ・旅行や懇親会に日本人従業員とともに出掛け、親睦を深めている
- ・買い物等の際には、送迎を実施



酪農実習に取り組む実習生



懇親会で親睦を深めている

群馬県 畑作・野菜 H農園

【受入れ経営体概要】

所在地：群馬県昭和村

従業員：正社員5名、技能実習生4名、パート4名

経営規模：15畝（レタス、小松菜、ホウレンソウ 等）

ポイント

☆日本語勉強会、能力試験の受験支援で円滑に技能習得

【受入れ経営体の取組等】

- ・平成27年から受入れ（インドネシアより）
- ・技能習得の円滑化や帰国後も就職等で有利になるよう、1年目に日本語能力試験のN5、2年目にN4、3年目にN3の取得を目標に設定。日本語の勉強会を実施者が講師となって、試験の約1カ月前から、2日に1回開催。勉強用テキスト代と受験料の1回分は、実施者が負担。（これまでにN5は全員、N4は2名、N3は2名が取得）
- ・日本語による作業日報の作成、朝礼・終礼での司会や報告等により、日本語の練習・実習の理解促進を図る
- ・買い物等の際には、送迎を実施



日本語の勉強会



実習生のレタス
収穫



お花見を楽しむ

埼玉県 畑作・野菜、施設園芸 O農協

【受入れ経営体概要】

所在地：埼玉県深谷市 受入れ農家戸数：29戸

受入れ農家の平均経営規模：15畝（ブロッコリー、トウモロコシ、ネギ、施設トマト 等）

ポイント

☆問題発生時に関係者が集まって解決できる体制を整備

【受入れ経営体の取組等】

- ・平成15年から農協を監理団体として受入れ（当時は中国、現在は中国とタイから受入れ）
 - ・受入れ農家と監理団体（農協職員）で構成する「受入れ会」を組織し、問題発生時には皆で集まって速やかに解決する体制を整備。
 - ・受入れ農家は実習生から「お父さん、お母さん」と呼ばれる良好な関係を構築
 - ・実習生を受入れることで10畝から20畝近くまで経営規模を拡大した農家も
- ### 【監理団体の取組】
- ・専門家を講師として招いて「技能実習責任者等講習」を開催。受入れ農家の制度の理解促進、法令の遵守を徹底。

香川県 畑作・野菜 K農園

【受入れ経営体概要】

所在地：香川県善通寺市

従業員：正社員18名、技能実習生13名、パート2名

経営規模：55畝（レタス、ブロッコリー 等）

ポイント

- ☆食事会の開催等コミュニケーションを重視
- ☆定期昇給を実現

【実習生の状況と受入れ経営体の取組等】

- ・平成7年から受入れ（カンボジア、ラオス、フィリピン）
- ・経営主のアメリカでの農業研修経験を踏まえ、コミュニケーションを大切にしており、実習生一人ひとりへの積極的な声かけや、個人ごと、国籍ごとに食事会をし、悩みや意見を聞いている。
- ・固定月給制を採用。2号になる際に1,000円以上、2号2年目になる際に1,000円以上、2号から3号になる際に給料の3%以上を昇給。



実習生による、サニーレタスの出荷作業の様子

【監理団体の取組】

- ・新年会や花見、旅行等を企画し、受入れ農家と実習生の親睦を深めている

茨城県 畑作・野菜 A氏

【受入れ経営体概要】

所在地：茨城県茨城町

従業員：正社員2名、技能実習生2名

経営規模：6畝（レタス、キャベツ等）、12畝（米）

ポイント

- ☆1年目は、日本での仕事や生活に慣れることを重点に置いた指導

【実習生の状況と受入れ経営体の取組等】

- ・平成7年から受入れ（インドネシア）
- ・母国とは風土や使用する道具等が異なるため、1年目は日本の生活、仕事に慣れってもらうことに重点を置き指導。
- ・日本語能力の向上に資するよう、実習生にあえて日本人と同様のスピードで話している。



受入れ農家と実習生旅行の様子。親睦を深める。

【監理団体の取組等】

- ・月に一度、受入れ農家、実習生と共にミーティングを開催。情報交換や送別会等のイベントは、実習生の交流の場にも。
- ・帰国実習生の中には、日本での収入や経験をもとに母国の農業の経営規模を拡大したり、農業指導員としても活躍しているケースがある。

千葉県 養鶏 M農産

【受入れ経営体概要】

所在地：千葉県旭市

従業員：正社員25名、技能実習生8名、パート4名

経営規模：養鶏（成鶏約40万羽、育成鶏10万羽）、
肉用牛（繁殖母牛200頭、肥育牛600頭）

ポイント

- ☆社内で定期的に勉強会を開催
- ☆個室完備など快適な生活環境の提供

【受入れ経営体の取組等】

- ・平成20年から受入れ（インドネシア）
- ・知識・技能の習得と実習の確認（復習）のため、毎月1回、社長・従業員と共に養鶏の飼養技術の勉強会を開催。（勉強会により、理解度が深まり自発的に動くように実習中のミスの減少や臨機応変な対応ができるように）
- ・リラックスできるよう個室住居を用意（6畳、9名分、テレビ付き、共同キッチン、シャワー室を用意）
- ・年に1回の旅行や、花火大会、忘年会に実習生と出掛け、親睦を深めている
- ・近隣にスーパーや郵便局等がないため、送迎を実施



養鶏の飼養技術に関する勉強会の様子

熊本県 畑作・野菜、施設園芸 Y農園

【受入れ経営体概要】

所在地：熊本県八代市

従業員：家族従業員5名、技能実習生8名

経営規模：4.3畝（メロン、トマト）

ポイント

- ☆充実した生活設備を提供

【受入れ経営体の取組等】

- ・平成18年から受入れ（中国より）
 - ・労働時間を適正に管理するため、勤務表を実習実施者と実習生がそれぞれ記録し、給与支払い時にお互いで確認。
 - ・寮を用意し、駐車場、自転車、冷蔵庫、炊飯器キッチン等の設備を整えている。
 - ・1号実習生の基本給は約13万円。適度に残業もあり、2号修了時に約400万円を貯金して帰国するケースも。また、2号修了者が帰国する際にボーナスを支給。
- ### 【その他の取組】
- ・監理団体業務も行っているJA関係者等を役員とし、JA園芸部に所属する受入れ農家を構成員とする「技能実習生受入農家連絡会」を組織。必要に応じ構成員の地区の代表者を集め、実習に関する意見交換等を行う。連絡会での意見等は、監理団体の毎月の巡回時に農家へ共有。